



むらぐち 鉄哉 議員

町に要望がある場合は
直接担当へ

問

ごみ袋の小分け売りを実施する考えは

町長

要望があれば検討する

ごみ袋の小分け売り

問 高齢者にとつては、使用枚数が少なく、小分けを希望しており変更する考えは。

町長 小分けは、袋の材質の管理や取扱店の手間が増えるなどの課題があるが、要望があれば検討する。

問 もう一つの考えは、燃やすごみ袋を買い物袋の代用とし、少しでも環境問題解消の目的であり改善する考えは。

町長 買い物袋の代わりという発想はなかった。で検討する。

ごみ袋が破れない

対策

問 燃やすごみ袋は縦に破れやすいため改善する考えは。

町長 燃やすごみ袋の材質は、耐熱性の高密度ポリエチレンを使用している。で、重くても比較的破れないものとなっている。

北見市や札幌市では、低密度ポリエチレンの材質を使用しているが、価格も1・4倍もするのでコスト面から現在採用するのは難しい。

生ごみ袋極小の

極小への改善

問 単身や2人世帯では、使用量が少なく、極小からさらに小さくする考えは。

町長 平成26年に極小を新たに追加導入したが、製作コストが高く、現時点で、さらに小さい袋の導入は、廃棄物処

理手数料との関係から非常に難しい。

問 隣町は、すでに生ごみを燃やすごみと一緒に処理しているが、経費削減や合理化から本町も実施する考えは。

町長 町として二酸化炭素排出ゼロ宣言をしており、自然環境に優しいまちづくりや循環型社会を推進するため、生ごみを燃やすことは、考えていない。



問

老人ホームくんねつぶ
静寿園の支援は

町長

町として支えていく

待機状況と

福祉会への補助額

問 現在の待機人数は。

町長 22人である。

問 令和7年度訓子府福祉会への補助金額の根拠は。

町長 人件費10%の2700万円に加え、稼働していないベッド穴埋め分4450万円の半額2200万円の合計4900万円を補助している。なお、1千万円は、令和6年度追加予算において前倒しで対応した。

今後の支援

問 開設から35年が経過し、建物の老朽による修繕や改築計画の要望と支援の考えは。

町長 赤字体質であることから民間経営だけに任しておけないと理解しており、経営改善を含め、福祉会と連携しながら支えていく。



村口議員の一般質問を視聴できます